

# 6 学力向上推進計画

高江洲小学校

## 1 学力向上推進目標

学びの姿勢の確立、基礎・基本の確実な定着を図り、幼児児童生徒一人一人に「生きる力」を育む  
～学校、家庭、地域社会の連携強化を通して～

## 2 基本方針

- (1) 「確かな学力」を育成する指導方法の工夫・改善を図る。
- (2) 目的意識を高め、将来に夢や希望を持ち、豊かな心をはぐくむ取り組みの充実を図る。
- (3) 根気強く学ぶ姿勢を育成する。
- (4) 健やかな体の育成に係わる取り組みの充実を図る。
- (5) 学習の基盤である生活リズムを確立し、主体的に学ぶ姿勢を育成する。
- (6) P D C Aサイクルの確立を図り、組織的・実効性のある取り組みの充実を図る。
- (7) 学校、家庭、地域と連携協力し効果的な取組を行う。

## 3 推進の視点

- (1) 学校教育目標の具現化構想の中で取組を展開する。
- (2) 指導方法工夫改善加配を配し、TT指導を行うことによって各学年で定着させるべき内容の確実な定着を図る。
- (3) 本校並びに地域の課題を明確にし、具体的な取組を行う。
- (4) 校内研修を含めた各研究組織を活かし、実効性のある学推の取組を行う。
- (5) 取組の評価に基づいた改善策を日常的に推進するため、校内学力向上推進委員会の充実を図る。
- (6) 取組の向上を図るため、P T A活動の活性化や家庭・地域社会との連携を強化し地域ぐるみの学推にする。
- (7) 円滑な取り組みができるように幼稚園、近隣小学校、中学校と連携を強化し校種間交流を活性化する。
- (8) 計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルで、校内の学力向上に係る取組の充実・強化を図る。
- (9) 取組結果の責任説明を行うための学校学推実践報告会を開催する。

## 4 年次推進計画

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
基礎・基本の定着を図る ・学習規律の確立 ・読解力の向上 ・表現力の向上 ・家庭学習（統一） 基本的な生活習慣の形成（挨拶、丁寧な言葉） ・生涯に亘る自己の健康管理能力の育成	基礎・基本の定着を図る ・学習規律の確立 ・読解力の向上 ・表現力の向上 ・家庭学習（統一） 基本的な生活習慣の形成（挨拶、丁寧な言葉） ・生涯に亘る自己の健康管理能力の育成	基礎・基本の定着を図る ・学習規律の確立 ・読解力の向上 ・表現力の向上 ・授業スタイルの確立 ・家庭学習（統一） 基本的な生活習慣の形成（挨拶、丁寧な言葉） ・生涯に亘る自己の健康管理能力の育成	基礎・基本の定着を図る ・学習規律の確立 ・読解・表現力の向上 ・授業スタイルの確立 ・授業と家庭学習の連動 基本的な生活習慣の形成（挨拶、丁寧な言葉） ・生涯に亘る自己の健康管理能力の育成

## 5 学校の取り組みの重点

### (1) 確かな学力の定着

- ①基礎的・基本的な知識・技能の習得
  - ・音読スタート、計算スタート・校内漢字検定・各種検定の定期的実施
- ②思考力・判断力・表現力等の育成
  - ・観察・実験・レポート作成・作文などの学習活動の展開
- ③学習形態を工夫し、授業改善を図る。
  - ・児童生徒の実態に応じた授業及び補充授業
  - ・「教えて考えさせる授業」の展開
- ④学習を支える力の育成（学習に向かう基本的な姿勢）
  - ・学習規律の確立・ノート指導
- ⑤発達の段階に応じた言語活動を行なう能力の育成
  - ・自分の考えをまとめ、大きな声で発表を行なう。
- ⑥読書活動の充実
  - ・朝読書の週時程への位置づけや読み聞かせボランティアとの連携、図書館の時間確保。
- ⑦授業と家庭学習の連動
  - ・各学年で統一した家庭学習。（基本的な型を定め全学級取り組む。）
  - ・教えて考えさせる授業の中で、授業と家庭学習をつなぐ。
- ⑧ICT機器を活用した授業の充実
  - ・教育活動全体を通じた情報モラルの指導
- ⑨うるま市実践9項目の取り組みの推進

### (2) 豊かな人間性の育成

- ①人間関係づくりの力をはぐくむ取り組みの充実
  - ・体験活動の充実（伝えあう力の育成）
  - ・食育教育の充実
- ②自己の将来や生き方を考える指導の充実
  - ・キャリア教育の推進、職場見学及び体験学習の実施（夢発見デー）
  - ・日々の授業での道徳教育の充実・実践・公開

### (3) 健康・体力の育成

- ①生活との関連を図った健康づくりの充実
  - ・食に関する指導の充実（望ましい食習慣の形成）
  - ・健康安全への意識の高揚及び児童一人ひとりの危機回避能力の育成
- ②日常的な運動、遊びを通じた体力づくりの充実
  - ・体育の授業の充実
  - ・縄跳び運動の推進（1校1運動）
  - ・校内体育的行事の活性化
  - ・戸外遊びの奨励
  - ・持久走大会の実施
  - ・新体力テスト、泳力調査の結果を活用した指導
- ◎基本的な生活習慣の形成
  - ①生活リズムの確立
    - ・生活リズム実態調査の実施（アンケート年2回の実施）課題への対応
    - ・早寝、早起き、朝ご飯の推進
  - ②規範意識、マナーの育成
    - ・「あいさつ、返事、後始末」の実践の強化【市共通実践項目】
    - ・自他の生命の尊重

## 8 一事徹底

### (1) 平成28年度学推一事徹底 【「学びのかまえ」学習規律の確立】

#### 取組

- 授業の始業、終業のやり方を統一（起立・語先後礼）
- 朝会での聞く態度の強化（姿勢、私語を慎む、大きな挨拶・返事）
- 授業態度の掲示資料を配布・掲示・指導（各学級）

## 9 具体的取り組み

	児童の課題	達成目標	具体的取り組み	評価
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：文章からの読み取り、算数：応用問題の内容で正解率が低い傾向が見られる</li> <li>・発表時の声が小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査</li> <li>・県到達度テスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①全国平均並みの正答率を目指す。</li> <li>②無答率を3%以下にする。</li> </ul> </li> <li>・市実力テスト                             <ul style="list-style-type: none"> <li>国語、算数 正答率30%以下0人にする。</li> </ul> </li> <li>・校内漢字検定 正答率50%以下0人にする。</li> <li>・かけ算九九検定 定着率90%以上</li> <li>・読書目標冊数 学年ごとに設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法工夫改善加配と担任による算数の少人数指導を実施する。</li> <li>・学力向上月間では全職員を配した少人数指導を実施する。</li> <li>・夏休みの補習指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「サマーチャレンジ」の実施</li> </ul> </li> <li>・毎日放課後の補習指導（10分間程度）</li> <li>・校内漢字検定による漢字力の向上を図る。</li> <li>・かけ算九九検定を行なう。</li> <li>・観察、実験、レポート作成、作文、新聞作り等を積極的に学習活動へ展開する。</li> <li>・朝読書、読聞かせ、図書館時間の設定と読みの時間の確保を行なう</li> <li>・各教科等での視聴覚機器を活用した授業の展開する。</li> <li>・各教科において、自分の考えをまとめ大きな声で発表する学習活動の展開する。</li> <li>・「教えて考えさせる授業」の教材開発を行なう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種テスト</li> <li>・校内漢字検定</li> <li>・九九テスト</li> <li>・平均冊数</li> <li>・教師の評価</li> </ul>
学習を支える力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのかまえ」の定着のばらつき</li> <li>・無記名の私物が多く、物を大切にできていない。</li> <li>・特定の児童に忘れ物が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのかまえ」の定着</li> <li>・忘れ物の減少（現在の半分）</li> <li>・家庭学習帳年間平均8冊以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律の確立（ベルスタート・言葉づかい・起立・礼・語先後礼等）</li> <li>・学習に使用する七つ道具を徹底し忘れないようにする。（えんぴつ・消しゴム・定規・赤ペン・のり・はさみ付箋紙）</li> <li>・共通したノート指導を行なう。</li> <li>・各学年で家庭学習の型を統一する。</li> <li>・授業と家庭学習の連動を図る。</li> <li>・家庭学習帳へコメントを記入し、学習意欲の向上を図る</li> <li>・校長による家庭学習帳の手渡しと奨励を行なう</li> <li>・良い使い方をしている家庭学習帳を提示し自分の学習へ生かす。</li> <li>・家庭と協力し忘れ物の減少に努める。</li> <li>・毎月1回「記名の日」の時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価表</li> <li>・筆箱チェック</li> <li>・家庭学習調べ</li> </ul>

<p>人間関係づくりを育む取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の前で自分の考えを的確に述べる事が苦手な児童が多い</li> <li>・発表時の声が小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動に参加することができる</li> <li>・他人の良いところを見つけることができる子(良い所探し)の育成</li> <li>・英語活動が楽しくできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業での発声練習や音読活動を通して、表現の基礎を培う</li> <li>・お互いのよさを認め合う話し合う活動を行なう。</li> <li>・ALTを活用した授業を行い、英語で日常のあいさつや簡単な会話ができる</li> <li>・各学年の発達段階に応じた体験活動や自然体験を行う(わくわく農園の利用)</li> <li>・家庭訪問、個人面談、学期1回の教育相談や市生活実態アンケート結果の活用を通して、児童理解に努める。</li> <li>・ボランティア活動の充実(フラワープレゼント・ユニセフ・赤い羽根)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での発表</li> <li>・授業での観察</li> </ul>
<p>自己の将来の生き方を考える指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域的に幅広い職種にふれる機会が少ないため、自分の将来就きたい職種について幅広く具体的に考えている児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感を育む。</li> <li>・「<b>なりたい自分・なれる自分</b>」を意識させ、<b>自己の将来に対し具体的な目標を持つようにさせる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科や総合的な学習の時間を利用して農業体験学習を実施する</li> <li>・キャリア教育学習「夢発見デー」を実施する。体験したことや見学しての感想や意見、思い等を発表する。</li> <li>・部活動及び、放課後教室プランの充実</li> <li>・委員会活動・当番活動の指導充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習後の感想やアンケート</li> </ul>
<p>生活との関連を図った健康づくりの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食摂取率が高い</li> <li>・校内研修で取り組んできたため、食事に対する意識や知識も高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いなく給食を楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や生活科をとおした食育教育の充実</li> <li>・日常食べている食品の名前が分かるようにする</li> <li>・友だちと仲良く給食を食べることができるようにする</li> <li>・自分の健康のために、給食を食べようと努力することができるようにする。</li> <li>・栄養のバランスを考えた食事を心がけることができるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムアンケート</li> <li>・保健の授業</li> </ul>

<p>日常的な運動・遊びとおとした体力づくりの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動において、多くの児童は日常的に運動に取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳における各学年の目標達成 (25m完泳率) 3年 40% 4年 60% 5年 70% 6年 80%</li> <li>持久走大会</li> <li>運動を楽しむ児童の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元集中型授業の実施</li> <li>学年TTの実施</li> <li>泳力に応じたグループ編成による授業を実施する。</li> <li>自己評価カードを作成し、目標を持って授業に取り組ませる</li> <li>日々の体力づくり</li> <li>市の陸上競技大会への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価カード</li> <li>泳力テスト</li> <li>校内持久走大会</li> </ul>
<p>生活リズムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食摂取率は95%以上と高いものの、一部の児童に就寝時刻・起床時刻が遅く、朝食をとることができないで登校する児童がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食摂取率の100%の達成</li> <li>10時以前の早寝、7時以前の早起き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の生活リズム調査を実施し、児童の実態把握に努める</li> <li><b>24時間時計を作成し、家庭との連携を強める。</b></li> <li>「早寝 早起き 朝ごはん」を家庭地域の二事徹底の一つとし、標語を募集し立看や横断幕を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムアンケート</li> </ul>
<p>規範意識・マナーの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつはやられたら返すことはできるが、まだ主体的に進んで行う児童が多いとはいえない</li> <li>ある程度の片づけは出来ているが、「次の人の事を考えて」の後始末は指導を要する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんであいさつの出来る子の育成</li> <li>次の人の事を考えて後始末の出来る子の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業での道徳教育の充実・実践</li> <li>「あいさつ 返事 後始末」を家庭地域の二事徹底の一つとし、標語を募集し立看や横断幕を設置する</li> <li>後始末は「自分や次に使う人のことを考えて」行うものだとすることを職員や家庭と共通理解し、後始末が出来るように日々指導を行う</li> <li>日常の教育活動全体を通して「いじめをしない・させない」指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心のノート</li> <li>日常の生活態度</li> <li>いじめアンケート</li> </ul>

## 10 公約、評価、公表について

	内 容	日 時
<p>公約の場</p>	<p>日曜授業参観 学校評議員会</p>	<p>5月19日 7・1月</p>
<p>評価</p>	<p>全国学力学習状況調査・うるま市実力テスト 泳力調査・体力テスト 児童・保護者による学校評価アンケート 沖縄県Web実力テスト 県学力到達度テスト 学校評議員による評価 職員による評価 (アンケート等)</p>	<p>4月24日 <b>5月</b> 6月～9月 11月 12月 <b>2月</b> 3月 学期末</p>
<p>結果の公表</p>	<p>学校評議員会 学校実践報告会</p>	<p>3学期</p>